

北市伸義個体差医療科学センター教授が「第9回アスタキサンチン・アワード」を受賞

9月20日(金)アルカディア市ヶ谷(東京)にて開催されました「第9回アスタキサンチン研究会」において、北市伸義個体差医療科学センター教授(眼科学)が、「第9回アスタキサンチン・アワード」を受賞しました。

同賞は、同研究会会員でその業績が日本のアスタキサンチン研究を代表するもので、同研究会運営あるいは発展に特に顕著な功績の期待される研究者に贈られるものです。

受賞式では青少年の反ドーピング活動のためアジア6カ国訪問の一環で来日中のベン・ジョン

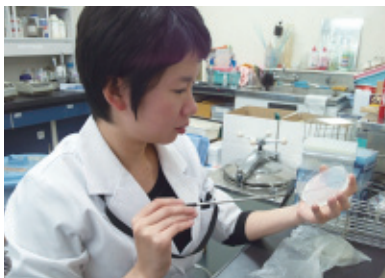
ソン氏(1984年ロサンゼルス五輪銅メダリスト)が特別プレゼンターを務め、賞状が授与されました。

なお、来年は札幌で開催され、北市教授は受賞記念講演を行うこととなります。



本学大学院生が2014年度IADR Hatton Award最終候補者(日本代表)に選出されました

IADR(国際歯科研究学会) Hatton Awardは第10代IADR会長のEdward Hatton博士の功績を称えて設けられた若手研究者を顕彰するための賞で、Junior部門とSenior部門(Basic Research, Clinical/Pre-clinical Research)



からなります。

この度、本学大学院歯学研究所博士課程第3学年の眞島いづみさんは、Senior-Basic Research部門に応募しました。

その結果、これまでの研究成果と共に最新の研究「Autoinducer-2 from *V. tobetsuensis* Influences on Oral Biofilm at Early Stage」が認められ、書類審査(一次選考)を通過して、8名の候補者として選ばれました。

さらに、去る11月18日(月)、東京医科歯科大学で行われたJADR(国際歯科研究学会日本部会)審査委員による二次選考会では、眞島さんは英語による口頭発表会および質疑応答に臨み、見事、日本代表の最終候補者(上位4

名)として選出されました。

本学からIADR Hatton Award最終候補者が選出されるのは初めての快挙であり、審査員の先生方からも極めて高い評価をいただいたとのことでした。これにより、眞島さんにはIADR本部よりIADR Travel Awardが授与されることが既に決定しております。

今後、眞島さんは、世界各国から選出された最終候補者の方々と共に、本選である2014年度IADR(6月末、Cape Town, South Africa)学術大会にて審査を受けることになります。

なお、本選では全ての最終候補者のうち上位2名が受賞者として選出されます。

EDITOR'S NOTE

「洗礼」という言葉には、キリスト教で信者となるための儀式の他に、ある方面にすすむ時必ず受ける最初の経験、という意味がある。新しく何かを始めるとき、またはある集団の一員になるためなどに、避けて通れない試練は多いものだ。

先日、当別へ赴任して、初めての大雪を経験した。関東での雪マークに慣れていて、粉雪が舞う程度と高をくくっていたが、大誤算だった。車には雪が高く積り、革靴の裏に付いた氷により廊下で滑った。未だ準備していなかった、車の雪かき棒、スノーシューズ、長靴、などの冬支度を急いで調達した。自分自身ではアウェーではない、と思っているのだが、北海道民の一員になるための洗礼を受けた気分だった。しかし、誰に聞いても、まだまだこれからだよ、当別はこんなもんじゃないよ、と言われる。これからも、冬の洗礼は続いていくのだろうか?

皆様におかれましては、本格的な寒さに向かう時節、お身体にお気をつけてお過ごしください。

(H.O記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.156

STAFF ● 遠藤 泰 派上 尚也 中山 英二 鏑口 有秀
遠藤 紀美恵 志渡 晃一 漆原 宏次 白鳥 亜矢子
大塚 裕之 木村 恵 杉原 佳奈 長原 利明
宮崎 隆志 國見 明美 松本 信也

発行日 ● 2013年12月27日

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
☎(0133)22-2113
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。
E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。